

総務省 統一QR「JPQR」 ご紹介資料

総務省 統一QR「JPQR」普及事業
事務局

JPQR普及事業コールセンター：0120-206-100（平日9:00～18:00）

キャッシュレス決済の導入意義

キャッシュレス決済の推進は、店舗等の生産性向上や消費者の利便性向上につながり、その結果、地域経済全体にも大きな効果を及ぼす取組であると言えます

店舗等のメリット

- 消費増税対策と集客効果
(ポイント還元事業への波及効果大)
- 働き手不足対策
(レジ締、現金取り扱い時間の短縮)
- 売上現金紛失・盗難等のトラブル抑止
- 従業員が紙幣・通貨に触れないので衛生的
- 現金の搬出入回数の減少
- インバウンド需要の取り込み
- 購買情報の分析や、販売促進への活用

消費者のメリット

- ポイント還元、クーポン利用でお得
- 現金の引き出しが不要
- 会計も早く、手ぶらで簡単に買い物が可能
(大金や小銭の不便さの解消)
- レシートデータの利活用など利便性が向上
(購買・消費履歴情報の管理が容易)
- 紛失・盗難時の被害リスクが低い
(条件次第で全額保証)

QRコード決済の導入意義



QRコード決済は、他のキャッシュレス決済よりも導入しやすいため、キャッシュレスを推進する上で有効な手段の一つと考えられます

QRコード決済は小規模な店舗でも導入やすく、キャッシュレス推進の有効な手法の一つです

クレジットカード デビットカード



ユーザーが提示する磁気・ICカードの情報を接触型の専用端末で読み取り、決済する方式

電子マネー



ユーザーが提示するICカードやスマートフォン等の情報を非接触型の専用端末で読み取り、決済する方式

QRコード決済



店舗が提示するQRコードの情報をユーザーがスマートフォン等で読み取り、決済する方式

店舗提示型の場合

長所

- 利用者が多い
- 高額決済時でも利用可
- 付帯サービスが充実

長所

- 交通利用など利用者が多い
- 決済スピードが速い

長所

- 維持・導入コストが不要
- 相対的に手数料が安い
- 入金までの期間が短い

短所

- × 導入・維持費用（端末・通信）
- × 手数料が高い（業種・規模）
- × 入金までの期間が長い

短所

- × 導入・維持費用（端末・通信）
- × 手数料が高い（業種・規模）
- × 入金までの期間が長い

短所

- × 普及段階にあるため、不慣れなユーザーは決済に少し時間がかかる

本日のご説明の目的

本日は、山形県の自治体のみなさまに、「JPQR」の存在を知っていただくとともに、各店舗のキャッシュレス推進の方策の一つにJPQRを入れていただきたいと思います

1

「JPQR」、「JPQR普及事業」を知っていただく

2

JPQR普及活動内容を知っていただく

地域店舗に向けた取組、自治体様向けの取組について説明します

3

地域でのキャッシュレス推進の方策の一つにJPQRを入れていただく

本日ご説明の取り組みに少しでもご興味を持っていただいた方は、JPQR普及事務局までご連絡ください（連絡先：jpqrseminar_2@tohmatu.co.jp）

総務省 統一QR「JPQR」の概要と導入実績

「JPQR」はたくさんある決済QRコードを、1枚つにまとめたQRコードの規格であり、小売業、飲食業を中心に導入店舗が広がっています

JPQRの概要

- 国内大手QRコード決済サービスを含む、約20社のQRコードに対応した、統一的なQRコードです
- 店頭には、JPQRを一つ置くだけで複数のQRコード決済に対応できます

対応決済サービス（R3.5月時点）



導入実績等

- JPQRは、これまで小売業や飲食業をはじめ幅広い業種のみなさまに導入されてきました
- 導入件数も、徐々に増加し、現在のところ全国約12,000店舗*に導入済となっています

*MPM方式にてお申し込みをいただいた総数



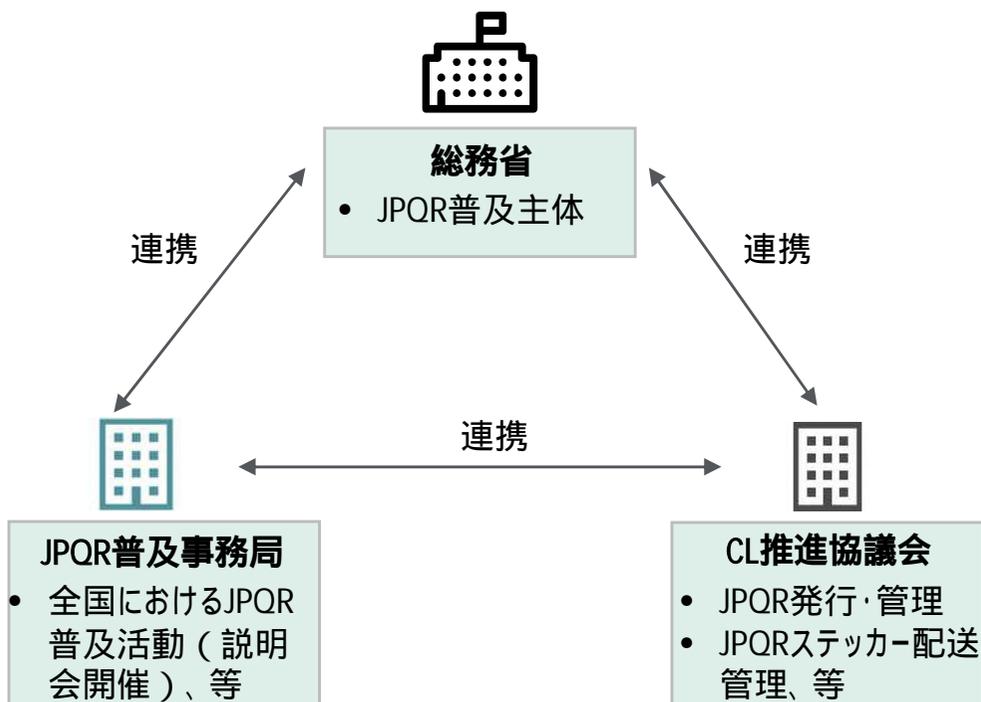
*1福岡銀行のみ対象 *2楽天ペイ（アプリ決済）

JPQR普及事業の概要

JPQR普及事業は、総務省が主体的に実施し、キャッシュレス推進協議会とも連携して進めている事業であり、今年度も多様なアプローチで事業を進める予定です

JPQR普及事業の概要

- ✓ JPQRは総務省が主体となって昨年度から全国に普及する事業を行っています
- ✓ 更に、キャッシュレス事業者等で構成される「キャッシュレス推進協議会」と連携・調整しながら、事業を進めています



普及活動の概要

- ✓ 昨年度は、47都道府県にて500回以上JPQR説明会を実施しました
- ✓ 今年度は、全国の店舗様向けに、定期的なオンライン説明会を開催するほか、事業Webサイトやコールセンター設置によりJPQR導入推進します

オンライン説明会の実施イメージ



事業Webサイト

JPQR説明動画や説明資料、よくある質問、店舗導入事例等を掲載しています



統一QR「JPQR」の3つのおすすめポイント

JPQRは「複数のQRコード決済サービスを一括で申し込める」、「店頭に置くQRコードステッカーは1種類」、「導入費・維持費が0円」の3つが大きなメリットがあります

一括申し込み



店頭のステッカーは 1 種類でOK



導入費・維持費 0 円



< JPQR導入店舗の声 >

QRコードが1つに纏まるため、店舗オペレーションの負担軽減につながっています

case.1 : カイロプラクティック

ひとりで営業しているため、手間の少ないJPQRは
とても楽で助かります。

以前からキャッシュレス決済は導入していて、QRコード決済も導入を検討していました。複数のQRコードがひとつにまとめられると新聞で知り、これは大きなメリットだと思ってJPQRに申し込みました。お店の面積も限られていますから、受付に台紙をひとつ置くだけでいいのは嬉しいですね。他の決済方法だと、決済のたびに専用機器を立ち上げなければいけないものもあります。受付から診断、施術までひとりでを行っていますから、お客様がQRを読み取るJPQRは手間や時間がかからず気持ち的にも楽で、助かっています。

JPQR導入の決め手

複数のQRコードがひとつにまとまる！

QRをお客さんが読み取るスタイルだから、店舗側の手間が少なくて接客に余裕！



case.2 : 飲食店

場所をとらずに、レジ周りがスッキリ。
オペレーションも簡単です。

キャッシュレスに対する世の中の関心が高まっているのを受けて、数年前からQRコード決済を導入しました。JPQRの導入は昨年からです。複数の決済サービスに対応するとなると、以前はQRコードをいくつも並べなくてはいけませんでしたが、台紙ひとつ置いておけばよいのは、JPQRの大きなメリットですね。お客様もキャッシュレス決済には慣れてきているので、JPQRの使い方も感覚でわかってもらえています。お店には若い外国人スタッフが多ですが、彼らも操作に迷うことなくオペレーションも簡単で、とても喜んでいきます。

JPQR導入の決め手

台紙がひとつで場所をとらない！

店舗スタッフのオペレーション教育も簡単！



< JPQR導入店舗の声 >

1枚のステッカーで複数サービスに対応しているため、小さい店舗やタクシー等においてもスペースをとることなく設置できます

case.3 : 音楽教室

QRコードがひとつになり、省スペースで、見た目もよく、お客様にもわかりやすい。

最近では現金を持たない方も増えてきているため、受講生の方のニーズに応えるためにここ数年、幅広い支払い方法を導入してきました。QRコード決済の場合、決済サービスを増やすごとに設置する台紙が増えてしまうため、どのように簡素化するかが課題でした。そんな折にJPQRを知り、QRコードがひとつにまとまることをメリットに感じ導入を決めました。どの手段で支払いが可能であるか、お客様にも提示しやすくなっているのも、非常に便利だと思います。お釣りを用意する手間が減ったのも嬉しいですね。

JPQR導入の決め手

1枚で、どのサービスが使えるかがわかりやすい！
お釣り（現金）を用意する手間が減った！



case.4 : タクシー

お客様の取りこぼし防止には、JPQRのようなサービスの導入が不可欠でした。

よくあるのが「カード使える？」というお客様の質問。もしも「使えません」と答えれば、その人は別のタクシーを探し始めます。タクシーにとって、どんな決済方法にも対応できるようにすることは、見込み客を取りこぼさないための常なる課題です。将来的には、キャッシュレス決済がどんどん普及するはずですから、対象サービスが豊富なJPQRのようなサービスは待ち望んでいて、発表後すぐに申込みました。お釣りもないので会計時にパタパタせず、機器の準備も要らないので、使い勝手は非常にいいですね。

JPQR導入の決め手

対応しているQRコード決済サービスが多く、幅広いお客様のニーズに対応！
お釣りも機器も不要で支払いが簡潔！



< JPQR導入店舗の声 >

現金の受け渡しが必要ないため、衛生面においても効果的です。また、最近では自治体窓口においてもJPQRの導入が進んでおり、地域のキャッシュレス化に繋がっています

case.5 : 弁当販売店

QR導入費・固定費0円と機器が不要であることは、複数店運営の大きなメリット。

屋台DELiは、オフィスビルの飲食フロアなどで、複数ブランドのお弁当を販売するお店です。さまざまな場所に出店している我々のような企業にとって、**導入費・固定費がかからないことは、JPQRの大きなメリット**だと思います。**機器が要らないので電源も不要、壊れない**というのも魅力ですね。現金を直接受け渡ししなくて済み、釣り銭の用意も以前より少なく、**食品を扱う業態のため衛生的にもお客様に喜ばれています**。店舗あたりの販売数も多く、店舗数も多いので、**売上管理画面も活用し、業務効率化につなげています**。

JPQR導入の決め手

導入費・固定費が0円！
機器・電源が不要で壊れない！
現金受け渡し不要で衛生的！



case.6 : 地方自治体

市民の方が自由に決済方法を選べることが、利便性向上に繋がります。

自治体においても、キャッシュレス決済の導入・拡充が課題となっています。田原支所では以前、別のキャッシュレス決済を利用しており、非常に好評をいただいております。より**多様な決済サービスを小さなスペースで導入できる**と知り、今回JPQRの導入を決めました。以前は、タブレット端末のカメラで市民の方のスマホを読み取っていましたが、**JPQRはご自身のスマホで完結**するので、よりスムーズな支払い処理が可能になりました。**決済方法を市民の方が自由に選べる**ことも、利便性向上の点でとても重要だと考えます。

JPQR導入の決め手

複数の決済サービスを小さなスペースで導入！
スマホで完結、支払い処理がスムーズに！



自治体ポイント還元キャンペーンにおけるJPQR連携

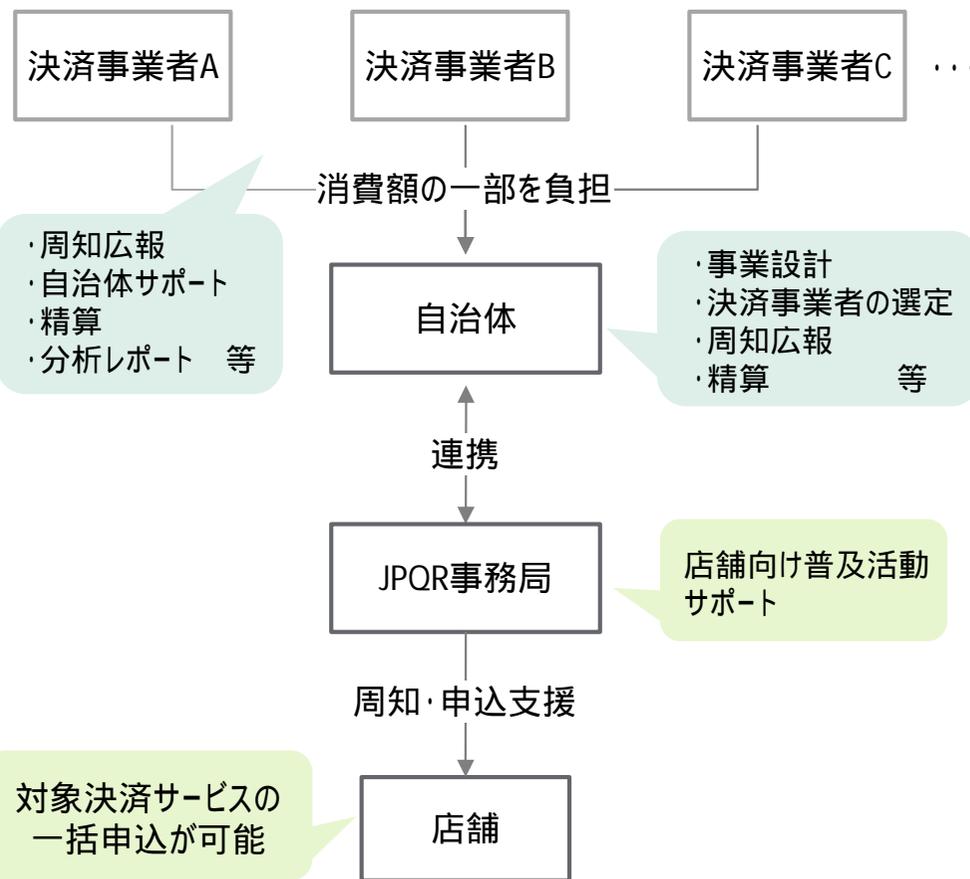
複数決済サービスによる還元キャンペーンを検討している自治体において、JPQR事務局が地域店舗の対象サービスの導入をサポートします

キャンペーン実施自治体例



出所：岐阜市「やっば岐阜やて！対象店舗で最大20%」たんと戻るよキャンペーン第2弾、<https://www.city.gifu.lg.jp/40274.htm>

ポイント還元キャンペーンの業務スキーム図（イメージ）



複数決済サービスを採用する自治体も増えている一方で、加盟店申請の手続きは店舗に一任されており、現状それぞれの決済事業者に問い合わせる仕組みとなっている

課題感：自治体の声

自治体A
立て付けは消費者の購入額の一部を負担することによる消費喚起なのだが、自治体が特定のサービス普及を後押ししているように見えてしまうのは複雑。そういう意味では1枚で複数サービスが利用できるJPQRは国の事業でもあり、自治体としては非常に推しやすい。

自治体B
キャンペーンになるべく多くの店舗を巻き込みたいが、対象加盟店を増やすための積極的な営業活動は立場上難しく、職員にも余力がない。正直、民間の決済事業者に頼らざるを得ない。

(*JPQRで対象サービスの加盟店の場合も、直接個社加盟店の場合も消費者は変わらず還元を受けることができますが、諸条件については事前に各対象サービス事務局間で確認します

自治体へのJPQR導入サポート

JPQR事業ウェブサイト内特設ページにおける情報提供や、自治体向け導入説明会の実施を通じ、自治体窓口・公共施設等への導入を支援しています

自治体導入向け特設ページ

- ✓ JPQR事業ウェブサイト内に、自治体導入検討時にご参考となる情報をまとめた、特設ページを開設しました
- ✓ JPQR導入によるメリットや導入ステップ、説明動画・個別事例資料・Q&A集を掲載しています

<https://jpqr-start.jp/lg/>



自治体向けJPQR導入説明会

- ✓ 自治体特有の導入メリットや運営オペレーションや具体的なJPQR活用事例を紹介する説明会を実施しています
- ✓ 今年度も複数会開催予定です。ご説明や質疑応答を通じ、理解を深め、課題解消を支援し、JPQR導入を促進して参ります

< 説明会プログラム例 >

1. 統一QR「JPQR」普及事業の概要
2. 地域のキャッシュレス推進にJPQRをお勧めする理由
3. JPQRの契約と売上管理
4. JPQRの自治体導入に係る課題と事例等
5. JPQRのお申込み手続き
6. 質疑応答

特に、自治体様がJPQRを選択・導入するメリット

JPQRは国の事業であるため導入する上で合意を得やすく、また、イベント出席時における利便性が高いことや、地域住民のキャッシュレス利用促進にもつながるメリットもあります

<p>1. キャッシュレスを推進しやすい</p> <p>新たにキャッシュレスを導入するとなると、様々なハードウェアの導入が必要となるため、導入コストが高額となります。JPQRは既存のスマートフォンやタブレット端末で利用可能で、導入コストが低く、導入も簡単です。</p>	<p>3. イベント出席者に対して利便性が高い</p> <p>観光地やイベント会場などでQRコードを利用することで、現金での支払いが不要となり、現金の持ち運びや紛失の心配もありません。また、QRコードは決済履歴が残り、売上管理も容易です。</p>
<p>2. 合算処理しやすい</p> <p>キャッシュレス決済を導入するだけで、現金と合わせての売上管理が容易になります。また、JPQRは国の事業であるため、導入コストが低く、導入も簡単です。</p>	<p>4. 納税住民への利用促進につながる</p> <p>自治体独自のキャッシュレスを導入することで、住民の利便性を高め、納税の促進にもつながります。また、JPQRは国の事業であるため、導入コストが低く、導入も簡単です。</p>

自治体特有の課題にどのように対応したか

キャッシュレス導入における自治体の会計処理課題について、財務機種の更新や日々のオペレーションを工夫することで対応しました

課題①	課題②
<p>市上から決算資料を提出した際に、納税住民の決済履歴から加算額が算出されず、現金と合わせての売上管理が困難な状態に陥りました。現金と合わせての売上管理が困難な状態に陥りました。</p>	<p>市上から決算資料を提出した際に、納税住民の決済履歴から加算額が算出されず、現金と合わせての売上管理が困難な状態に陥りました。</p>
<p>対応事例</p> <p>財務機種の更新を行い、納税住民の決済履歴を管理しました。</p> <p>■対応事例</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 市上から決算資料を提出した際に、納税住民の決済履歴から加算額が算出されず、現金と合わせての売上管理が困難な状態に陥りました。 2. 市上から決算資料を提出した際に、納税住民の決済履歴から加算額が算出されず、現金と合わせての売上管理が困難な状態に陥りました。 3. 市上から決算資料を提出した際に、納税住民の決済履歴から加算額が算出されず、現金と合わせての売上管理が困難な状態に陥りました。 	<p>対応事例</p> <p>市上から決算資料を提出した際に、納税住民の決済履歴から加算額が算出されず、現金と合わせての売上管理が困難な状態に陥りました。</p> <p>■対応事例</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 市上から決算資料を提出した際に、納税住民の決済履歴から加算額が算出されず、現金と合わせての売上管理が困難な状態に陥りました。 2. 市上から決算資料を提出した際に、納税住民の決済履歴から加算額が算出されず、現金と合わせての売上管理が困難な状態に陥りました。 3. 市上から決算資料を提出した際に、納税住民の決済履歴から加算額が算出されず、現金と合わせての売上管理が困難な状態に陥りました。

JPQRにご興味を持たれたら・・・

本日のご紹介の後、よろしければJPQRのホームページをご覧くださいと幸いです
さらに、少しでもご興味を持っていただけましたら、お気軽に事務局までご連絡ください



1

JPQRのホームページをご覧ください

- <https://jpqr-start.jp/>



2

事務局まで、ご連絡ください

- 少しでも興味を持っていただけましたら、「JPQR普及事業事務局」までお気軽にご連絡ください
- 詳細なご説明、普及の取組み、自治体様への導入支援等お手伝いさせていただきます
- 連絡先：jpqrseminar_2@tohmatu.co.jp

JPQR

をはじめよう

- 自治体・商工団体様向け問い合わせ窓口：

jpqrseminar_2@tohmatu.co.jp

- JPQR普及事業コールセンター：

0120-206-100（平日9:00～18:00）

（ご不明点・お申込み方法のお問合せ）

- お申込み：<https://jpqr-start.jp/>

「JPQR スタート」で検索



お申し込みは、ホームページからいつでも受け付けています。
ご不明な点などございましたら、コールセンターにお問合せください。

参考) 申込手続きには何が必要？

事業WebサイトからいつでもJPQRにお申込できます。
 基本情報のほか、以下審査書類をスマホ等のカメラで撮影しアップロード
 いただきます。



法人	
許認可写し	許認可写しのある業種のみ ...取り扱い商材によって、許可証の提出が必要です 飲食店・宿泊業・卸売/小売業・運輸業・サービス業・医療福祉・ 不動産業・鉱業・建設業の方など
登記簿謄本（履歴事項全部証明書 発行日より3ヶ月以内）	
店舗の内観・外観の写真	
事業内容が分かる資料	事業内容が確認できるホームページ URLをお持ちでない方 ...各行政機関発行の許認可証、会社案内、パンフレット、チラシなど
以下決済サービスを申請する場合上記に加えて必要書類があります マイナンバーカードは不可	
PayPay「新規利用」を希望の場合：法人(申込担当者)の本人確認書類 下記のうちいずれか一つ ・運転免許証（表裏両面） ・日本国発行パスポート(顔写真付きページ+住所記載欄)+住所確認書類 ・在留カード/特別永住者証明証	
銀行Pay「新規利用」を希望の場合：法人(代表者)の本人確認書類 下記のうちいずれか一つ ・運転免許証（表裏両面） ・日本国発行パスポート(顔写真付きページ+住所記載欄)	

個人事業主	
許認可写し	許認可写しのある業種のみ ...飲食店・宿泊業・卸売/小売業・運輸業・サービス業・医療福祉・ 不動産業・鉱業・建設業の方など
本人確認書類（有効期限内） マイナンバーカードは不可 下記のうちいずれか一つ ・運転免許証（表裏両面） ・日本国発行パスポート（顔写真付きページ+住所記載欄）	
PayPay「新規利用」を希望の場合： パスポートを提出する場合には、 ・日本国発行パスポート（顔写真付きページ+住所記載欄） + <u>住所確認書類</u> が必須となります。	
店舗の内観・外観の写真	
事業内容が分かる資料	事業内容が確認できるホームページ URLをお持ちでない方 ...各行政機関発行の許認可証、会社案内、パンフレット、チラシなど

参考) どうやって使うの? 売上管理方法は?

「JPQR」は、3ステップで簡単に決済できます。接触することなく、決済できます。
また、店舗別の売上や入金日は、管理画面でいつでも確認することが可能です。

JPQRの決済方法

Step1. お客様が、スマホの
決済アプリでQRコードを読み取



Step2. お客様が金額入力し「支払」
ボタンを押す



Step3. 画面を店員に見せ、
確認し、決済完了!



決済方法動画
公開中! ↓



店舗売上管理

店舗の売上管理は、Webで閲覧可能なJPQRの売上がまとめて閲覧できる「JPQR売上管理画面」と返金処理等のより詳細な操作が可能な「各社が提供している売上管理画面」の2つをご利用いただけます。

JPQR売上管理画面

JPQR対応の各社サービス管理画面へのリンク
や決済履歴をまとめて管理できる画面です



一部サービスのみ対応が準備中

各社が提供している売上管理画面

タイムリーな売上管理、返金処理等、登録情報の変更
等が可能です



